

四万十川に魚のゆりかごをつくろう

～子供達とコアマモを移植し、豊かな生態系の復元を目指します～

国土交通省中村河川国道事務所は、平成29年6月26日（月）、自然再生事業（別紙①）の一環として試験的に整備した四万十市実崎の『ワンド』（別紙②）に、地元の四万十市立八束小学校の子供達とコアマモの移植を行います。

移植作業は、四万十川で多くのコアマモが確認されている場所から、現在の生育環境を改変しないよう人力で採取し、試験的に整備した『ワンド』内に田植えの要領で行う予定です。



中村河川国道事務所では魚の仔稚魚（赤ちゃん）やその餌となる生物のすみ処となるコアマモ等の生育場を再生する事業を『魚のゆりかごづくり』と名付けています。

- 日時 平成29年6月26日（月）13時～15時（予定）
小雨決行
- 場所 四万十川右岸 実崎地区 高水敷（別紙位置図参照）
- 参加者 八束小学校 5年生・6年生の皆さん
四万十川自然再生協議会 外
- 内容 『ワンド』内へのコアマモの移植体験
『ワンド』で見られる水生生物の観察

平成29年 6月20日
国土交通省四国地方整備局 中村河川国道事務所

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所
電話(0880)34-7301

副所長 香川 正好 内線(204)
◎計画課長 黒田 稔生 内線(261)

◎主な問い合わせ先

別紙（位置図）

○国道56号の足摺分岐から国道321号を南へ走行



○国道321号山路橋手前で四万十川の堤防に入り、四万十大橋が上空を横断する手前の坂路で四万十川の高水敷へ降りて下さい。



国土地理院（電子国土WEB）をもとに作成